

## 我が国金融業の国際競争力の強化に向けて

2011年7月29日

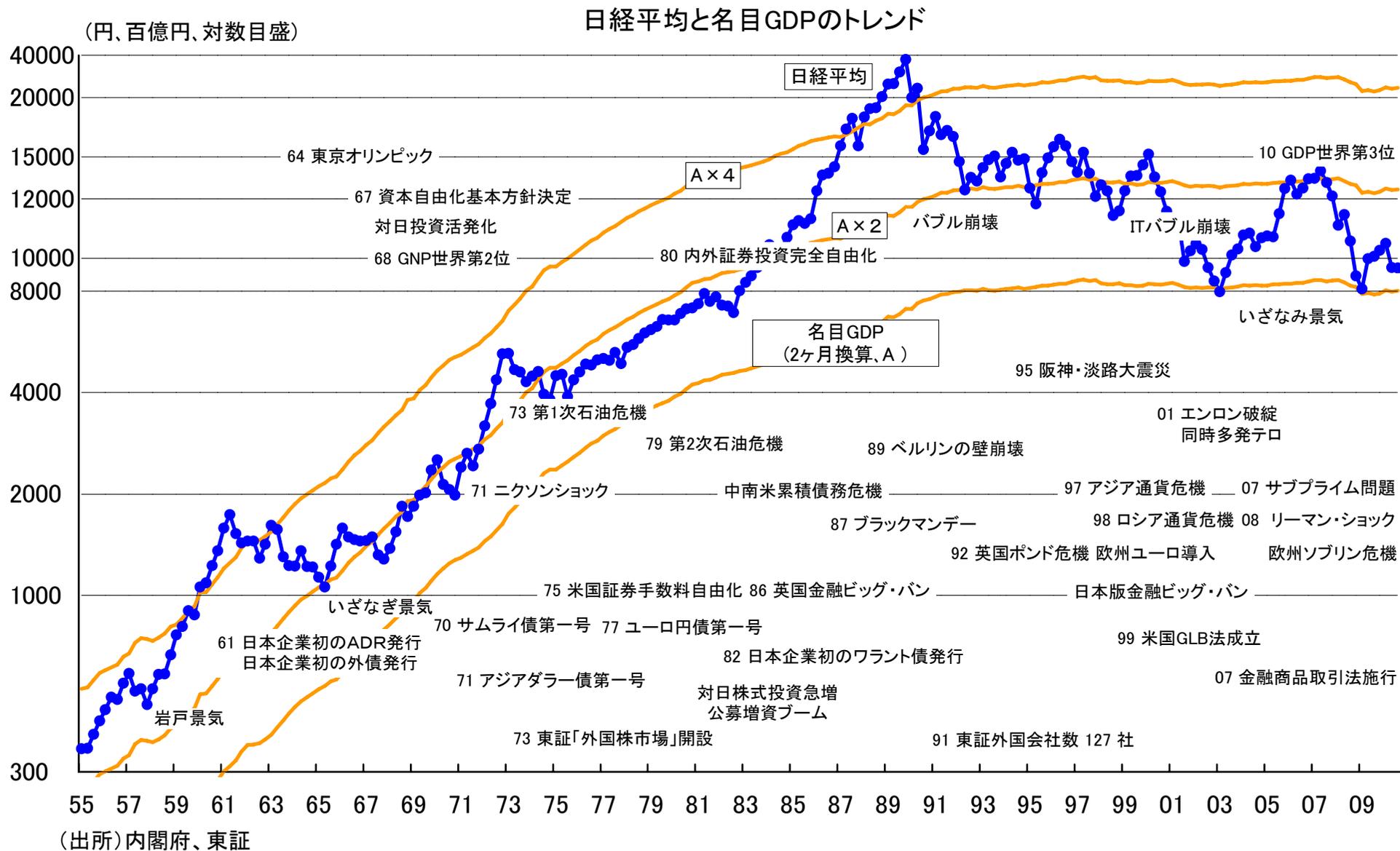
大和証券キャピタル・マーケットツ(株)

金融証券研究所担当 兼 グローバル・リサーチ部門ヘッド

元 ロンドン現地法人 社長

参与 中村 力

# 本邦証券会社の海外展開の歴史(背景)



# 本邦・外資系の事業面における相違

- 投資銀行業務においてディールを獲得する為の主たる3要素
  - ソリューション提供力
  - 顧客基盤・販売力
  - トラックレコード、信用、プレゼンス

## ソリューション提供力

### 高度化・複雑化する顧客ニーズへの対応

- 「引受⇒販売」という伝統的証券ビジネスフローからの転換
- 事業ポートフォリオ構成の違い

## 顧客基盤・販売力

### グローバルな収益基盤の拡大

- グローバルネットワークの構築
- 日本の証券市場の低迷

ディール獲得の結果として

## トラックレコード、信用、プレゼンス

### 現地市場におけるプレゼンスの拡大

- 実績が新たな実績の為の重要ツール
- オーガニックグロースからの転換

更なる顧客基盤の  
拡大へと繋がるプ  
ラスの循環

# 相違の背景となってきた課題

- 収益の源泉を「人材」に大きく依存する証券ビジネスにおいては、事業面の相違を埋める優秀な社員の獲得・維持に向けた組織・人事面等(マネジメント手法・ガバナンス)における課題がある

## コミュニケーションの壁

- 言語の壁
- ビジネスカルチャーの壁

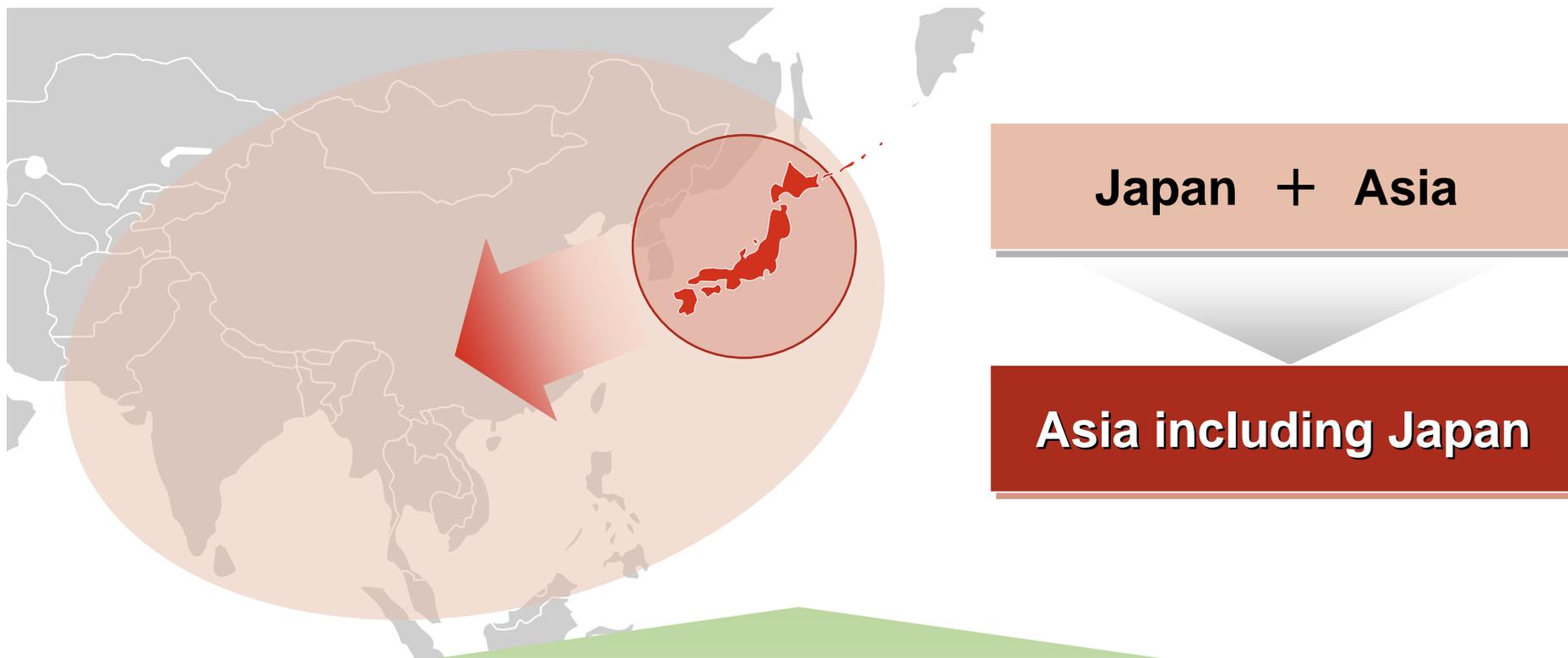
## 人事制度の相違

- 報酬制度の相違
- 人材育成手法の相違

## 権限委譲とリスクマネジメント

- 現地ビジネスへの権限委譲に対する考え方
- 複雑化するリスクへの対応

# (ご参考) ~アジアを「マザー・マーケット」に~



アジアの成長機会への投資を通じた日本のアジア化をサポート

大和証券グループ = アジアを代表する証券グループ

大和証券  
キャピタル・マーケット

大和証券

大和投信  
大和住銀

大和企業投資  
大和PI  
大和証券SMBPCI

## ～アジアにおける当社の歩み～



- 世界初のアジアダラー債 (DBS銀行債) の主幹事を務め、シンガポールのオフショア市場にアジアダラー債市場を創設 (1971)
- 世界初のアジア開発銀行 (ADB) が発行したユーロ円債の主幹事 (1978)
- 伊藤忠の香港法人によるアジアダラーCP第1号の幹事 (1980)
- アジア金融投資会社 (AFIC) の設立に参画、初代社長を派遣 (1989)
- マレーシアの電力会社テナガナショナルの民営化にあたり海外主幹事を獲得
- ADB円建て債300億円 (通称ドラゴン円債) の主幹事 (1993)
- アジア企業の東証上場第1号—マレーシアのYTLグループの上場主幹事 (1996)
- フィリピンのオフショア市場の育成、フィリピン開発銀行のフィリピン・オフショア円債発行主幹事獲得 (1997)
- 韓国・東洋生命の現地IPOで共同主幹事を務める (2009)
- 上海康耐特光学のIPOで中国・深セン取引所上場主幹事を日系では初めて務める (2010)
- SinoComの香港上場主幹事獲得、また中国・香港・台湾・シンガポールなど多数の金融機関や企業のIPO/PO案件においてPOWL主幹事を務める。2004年: 平安保険、2005年: 交通銀行、中国建設銀行、上海電気、2006年: 中国工商银行、中国銀行、招商銀行、2010年: 中国農業銀行、AIAグループ、ハチソン・ポート・ホールディングズ

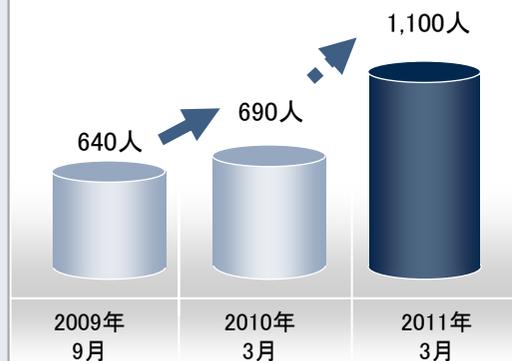
# ～当社のアジア戦略～

## アジアビジネス強化に向けて、香港現地法人を「第2本社」化

- グローバル・インベストメント・バンキング部門Co-ヘッドが香港に駐在
- アジア拠点を統括するハブ機能の構築

## 人員体制強化

### アジア拠点人員



### GM部門

アジア株・デリバティブ  
ビジネス分野で  
約300名増強

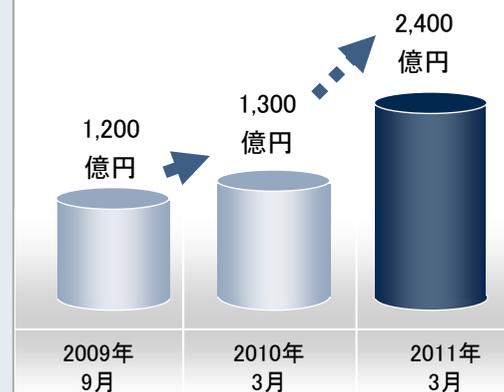
### GIB部門

引受およびM&Aビジネス  
分野で  
約100名増強

(※)GM部門:Global Markets 部門の略、GIB部門:Global Investment Banking 部門の略

## 海外拠点の資本増強

### 海外拠点の資本



- ビジネス拡大および現地規制対応のため、香港・ソウル・インド・ロンドン等の海外拠点において 1,000億円規模の資本増強

## 現地有力者のアドバイザーへの招聘

- 現地有力者を各拠点の共同会長/顧問に招聘 → アジアにおける経営・営業展開に関する助言および支援

Kim Chang-Lok氏 シニア・アドバイザー



韓国産業銀行総裁、金融監督院副院長、韓国国際金融センター所長、韓国財政経済部管理官 等を歴任

Ashok Jah氏 インド現法シニア・アドバイザー

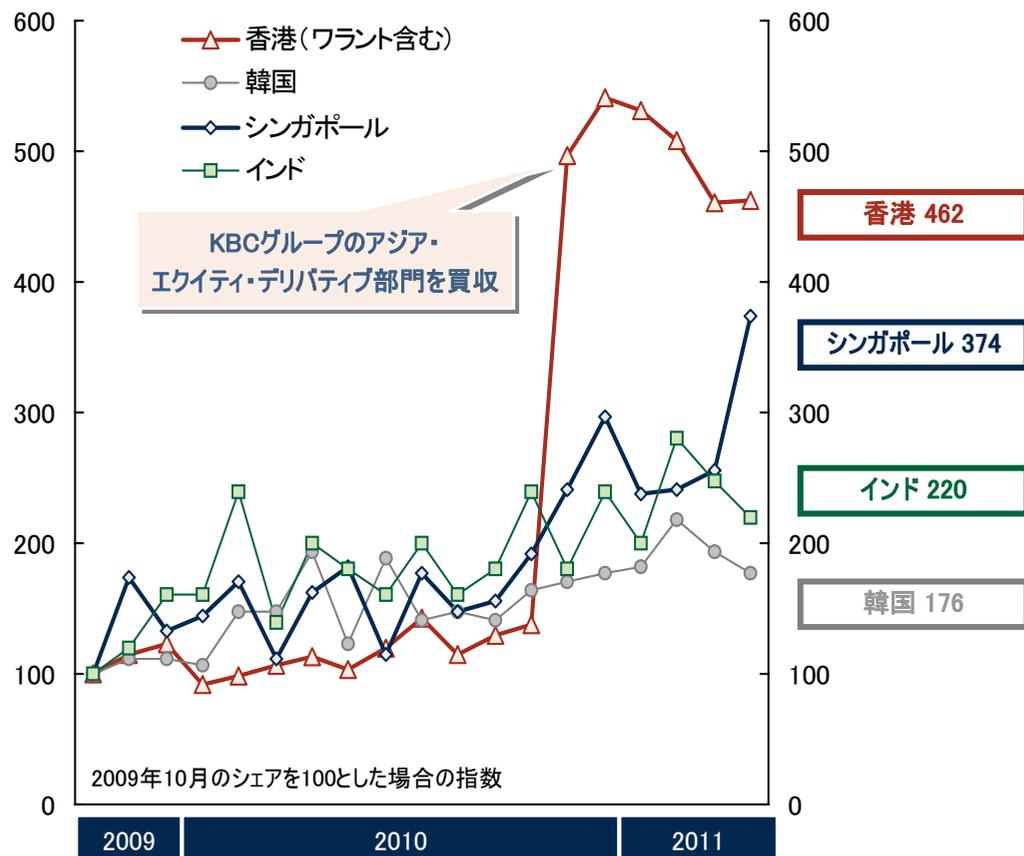


インド財務次官、アジア開発銀行・世界銀行インド総務代理  
現代自動車インド現地法人社長 等を歴任

# ～グローバル・マーケット部門～

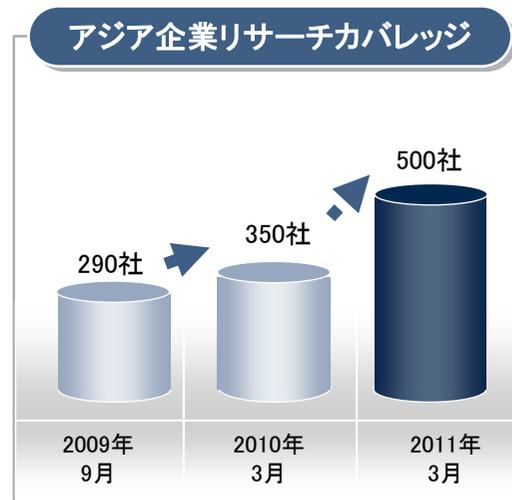
- KBC買収後、香港の売買代金シェア(ワラント含む)は4倍水準へ
- 他のアジア各国市場においても売買代金シェアは順調に上昇

## 株式市場売買代金シェア

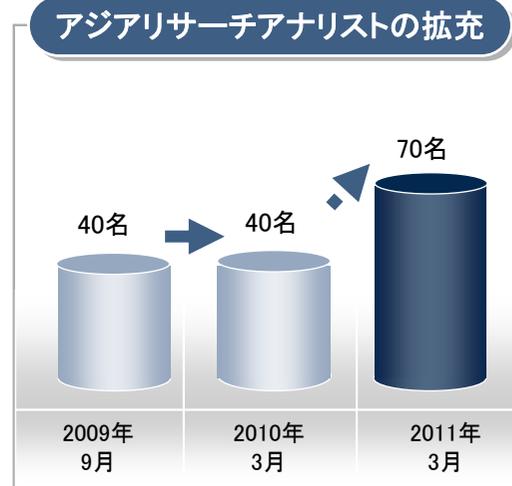


## リサーチ部門の拡充

### アジア企業リサーチカバレッジ

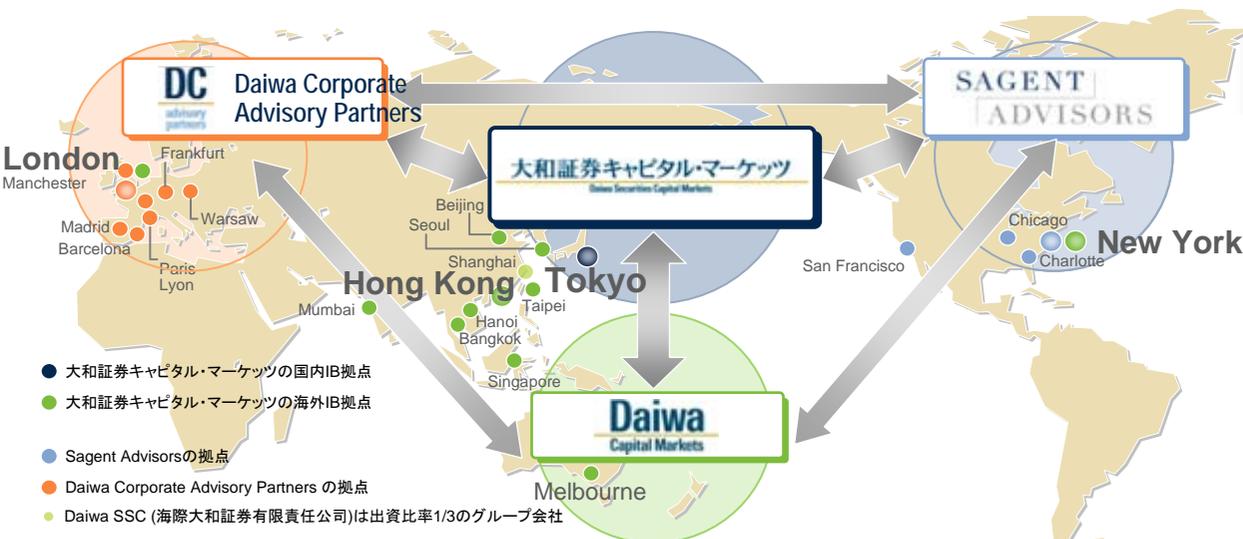


### アジアリサーチアナリストの拡充



# ～グローバル・インベストメント・バンキング部門～

- IB部門においても体制整備が進んだことによりマニデート保有件数は着実に増加
- アジア・日本・米国・欧州のバンカーが密接に連携して、クロスボーダーのソリューションを提供



## IB実績

### 2011年の主な実績

2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ エルピーダメモリ 台湾預託証券(TDR)共同主幹事  <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日本企業初の台湾上場案件</li> </ul> </li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ハチソン・ポート・ホールディングス・トラスト POWL共同事務幹事  <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ シンガポール証券取引所における過去最大のIPO案件のPOWL</li> </ul> </li> </ul>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SBIホールディングス 香港預託証券(HDR)主幹事  <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日本企業初の香港上場案件</li> </ul> </li> <li>■ マレーシア大手医薬品メーカー-Hoepharm Holdings Sdn. Bhd.の大正製薬への売却 (売手側アドバイザー)</li> </ul>

## 海外人員数

欧州	アジア	米国
当社欧州拠点 約20名 Daiwa Coporate Advisory Partners 約200名	当社アジア拠点 約140名	当社NY拠点 約10名 Sagent Advisors 約100名

(※)2011年3月末現在